

J-VERのポジティブリスト策定の条件

- **ベースライン**: プロジェクトを実施しなければどうなっていたか？を示すシナリオ＝ベースラインシナリオを設定できるかが重要。(例: 廃熱回収設備を入れなければ、焼却炉の廃熱は放散され、系統電源を使用等)
- **モニタリング**: プロジェクトの活動量を計測できるか？プロジェクトの活動量から、ベースラインで使用していた電力量等を推定し、プロジェクトとベースラインの排出量の差を求めるため重要。(例: 設備の発電量が1MWhであれば、プロジェクトがない場合には同量を系統電源でまかなっていたと想定し、1MWhを排出削減量とする)
プロジェクトとベースラインの排出量の差分が排出削減量 クレジットとなる。
- **適格性基準**: 方法論(プロジェクトの排出削減量の計算方法を示したもの)を使用できるプロジェクトタイプを規定する。同時にプロジェクトの追加性(J-VER制度があるから本プロジェクトを追加的に実施すること)の立証に使用する。

